



Grow the new Story.
新しい物流で、新しい社会を、共に育む。

2024年3月期 決算説明資料

2024年4月30日
SGホールディングス株式会社

1.	2024年3月期 決算概要	1 ~ 9
2.	2025年3月期 業績予想	10 ~ 16
3.	中期経営計画の進捗	17 ~ 21
4.	参考資料	22 ~ 29

2024年3月期のハイライト

デリバリー事業では、実質賃金の減少などの影響により、宅配便の取扱個数は弱含みで推移。一方で、平均単価は小型荷物の割合増加等による下押し要因があるものの、適正運賃収受の取組みにより上昇。ロジスティクス事業では、物価上昇による金融引き締めなどを背景とした経済成長の鈍化懸念等は継続しており、海上・航空貨物の取扱量は減少。運賃は一部では上昇も、全体としては底這い状況が継続。これらにより、2024年3月期の連結業績は、前期を下回ったものの、業績予想並みで着地。

● 業界関連

- 「2024年問題」における時間外労働時間の上限規制に向けた対応や、急激なインフレの進行等を背景に、当社グループを含む大手事業者を中心に価格改定の動きが進展
- 政府は「2024年問題」への対策として、2023年6月に「物流革新に向けた政策パッケージ」を、10月には「物流革新緊急パッケージ」を公表し、持続可能な物流の実現を後押し
- 国際輸送需要は、世界経済減速等に伴い低調に推移

● 当社業績の概況

- 取扱個数は、物価調整後の家計消費支出の弱まり等の影響を受け、BtoB・BtoCともに減少
- 平均単価は、2023年4月からの届出運賃の改定や、取引ごとの適正運賃収受の取組みにより上昇
- TMS⁽¹⁾の売上高は、GOAL^{®(2)}による提案営業等を継続も、感染症関連案件剥落の影響等もあり減少
- 期初から従業員の給与引き上げや、委託費見直し等、社内外リソースの強靱化を実施
- 海上・航空貨物の取扱量は、経済成長の鈍化懸念等により減少。運賃は底這いで推移
- 最適なガバナンス体制構築やグループ間連携強化を目的にエクスボランカ社の非上場化手続に着手

注記 (1) TMS: Transportation Management System、当社グループの物流ネットワークを活用した宅配便以外の付加価値輸送サービス (2) 「GOAL」はSGホールディングス株の登録商標

Copyright © 2024 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

連結業績サマリー

(億円)	2023年3月期	2024年3月期	前期比
営業収益	14,346	13,169	91.8%
営業利益 (営業利益率)	1,352 (9.4%)	892 (6.8%)	65.9%
経常利益	1,379	908	65.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,265	582	46.1%

注記 (1) 億円未満切り捨て

Copyright © 2024 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

3

■ 当社グループの業績（前期との比較）

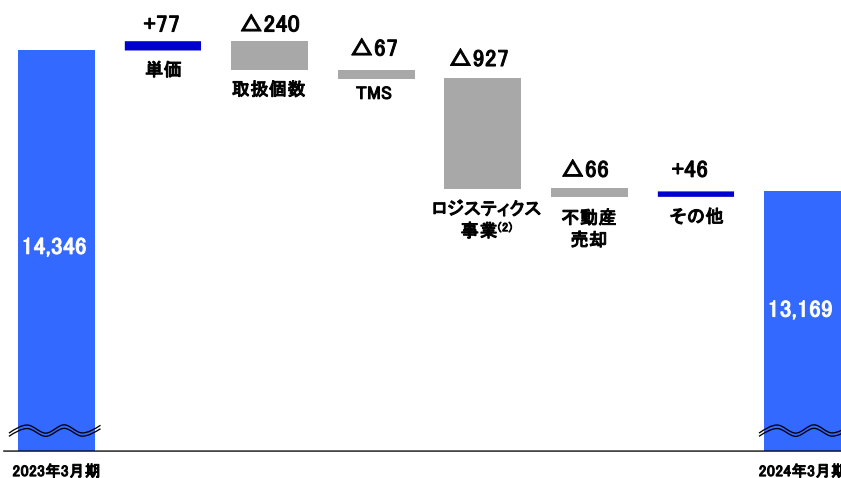
- 営業収益 : Δ 1,176億円
- 営業利益 : Δ 460億円
- 経常利益 : Δ 470億円
- 親会社株主に帰属する当期純利益 : Δ 682億円

【参考】

- ROE : 10.3%（前期は24.1%）

営業収益の増減分析

(億円)



注記 (1) 億円未満切り捨て (2) TMSを除く

Copyright © 2024 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

4

■ 実績（前期との比較）

- 平均単価 : 648円 (+ 5円)
- 取扱個数 : 1,373百万個 (△ 37百万個)
- TMS : 1,130億円 (△ 67億円)

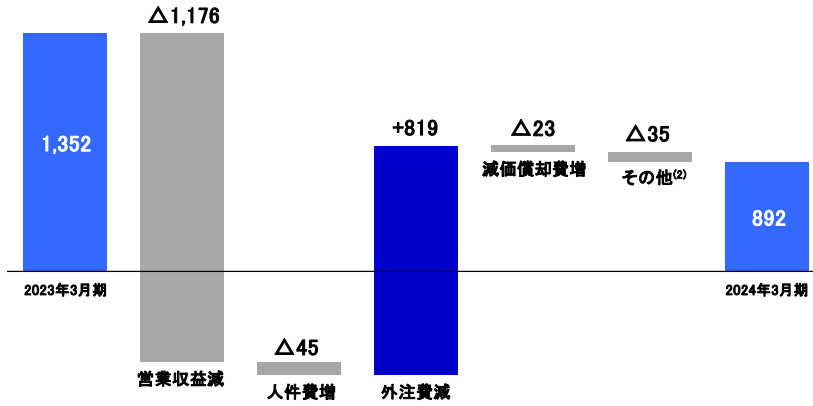
(参考) 稼働日前年増減 : 平日±0、土曜±0、日曜祝日+1

■ エクスポランカ社（ロジスティクス事業）の実績

- 営業収益 : 1,138億円 (前期差 △935億円 前期比 54.9%)

営業利益の増減分析

(億円)



注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 「その他」は燃料費含む

Copyright © 2024 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

5

■ 主な費用の内訳

(億円)

科目	2024年3月期	前期差	前期比	主な要因
人件費	4,346	+ 45	101.0%	給与の引き上げによる増加、取扱個数減少による費用減等
外注費	5,909	△ 819	87.8%	ロジスティクス事業の減収等
減価償却費	350	+ 23	107.2%	有形固定資産・無形固定資産の取得等
その他 (燃料費含む)	1,670	+ 35	102.1%	販売用車両の仕入増加等
合計	12,277	△ 715	94.5%	

セグメント別業績

(億円)	2023年3月期	2024年3月期	前期比
営業収益 合計	14,346	13,169	91.8%
デリバリー事業	10,473	10,285	98.2%
ロジスティクス事業	3,148	2,197	69.8%
不動産事業	195	126	64.6%
その他の事業	528	560	106.1%
営業利益 合計	1,352	892	65.9%
デリバリー事業	997	815	81.7%
ロジスティクス事業	192	△ 48	-
不動産事業	99	71	71.8%
その他の事業	42	34	79.5%
調整額	20	20	98.7%

注記 (1) 億円未満切り捨て

Copyright © 2024 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

6

■ 主な営業利益の増減内訳（前期との比較）

- デリバリー事業 : △ 182億円
 - 従業員の給与引き上げ
 - 委託費の見直し
 - 取扱個数の減少
 - TMSの取扱減少（感染症関連案件剥落の影響等）

- ロジスティクス事業 : △ 240億円
 - 海上・航空貨物の取扱量減少及び運賃下落

- 不動産事業 : △ 27億円
 - 不動産売却規模による差異

セグメント別業績概要

デリバリー事業

- 取扱個数は、物価調整後の家計消費支出の弱まり等の影響を受け、BtoB・BtoCともに減少
- 平均単価は、2023年4月からの届出運賃の改定や、取引ごとの適正運賃収受の取組みにより上昇
- TMSの売上高は、GOAL[®]による提案営業等を継続も、感染症関連案件剥落の影響等もあり減少
- コミュニケーションアプリ「LINE」を活用した「配達予定通知」等のサービス導入や、物流業界初となる「AI搭載の荷積みロボット」の実証実験開始など、お客様の利便性や生産性向上への取組みも継続

ロジスティクス事業

- 海上・航空貨物の取扱量は、物価上昇による金融引き締めなどを背景とした経済成長の鈍化懸念等により減少
- 海上・航空運賃は、一部では上昇も見られるものの、全体としては底這い状況が継続
- 国内では、GOAL[®]によるソリューション提案営業を継続も、感染症関連案件剥落の影響等により減少

不動産事業

- 計画どおり、第4四半期に保有不動産を売却

その他の事業

- 前期において半導体不足等の影響で不振であった新車販売が回復
- BPO取引が減少

連結キャッシュ・フロー計算書

主要キャッシュ・フロー項目

(億円)	2023年3月期末	2024年3月期末
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,653	776
投資活動によるキャッシュ・フロー	280	△ 413
フリーキャッシュ・フロー ⁽²⁾	1,934	362
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,054	△ 703
現金及び現金同等物の増減額	908	△ 309
現金及び現金同等物の期末残高	1,782	1,472

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) フリーキャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー (3) 2023年3月期末は、当社が保有していたロジスティード株式会社(2023年4月1日付で株式会社日立物流から商号変更)株式の売却による収入を含む

Copyright © 2024 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

8

■ 連結キャッシュ・フロー

(億円)

・ 営業活動によるキャッシュ・フロー	776
主な内容：	
税金等調整前当期純利益	885
減価償却費	348
のれん償却額	19
為替差損益	(△は益) 28
固定資産除却損	20
売上債権の増減額	(△は増加) △ 30
棚卸資産の増減額	(△は増加) 29
預り金の増減額	(△は減少) 58
法人税等の支払額	△ 590
・ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 413
主な内容：	
有形固定資産の取得による支出	△ 352
無形固定資産の取得による支出	△ 65
・ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 703
主な内容：	
短期借入金の純増減額	(△は減少) △ 17
長期借入れによる収入	34
長期借入金の返済による支出	△ 208
リース債務の返済による支出	△ 92
自己株式の取得による支出	△ 99
配当金の支払額	△ 334

連結貸借対照表

(億円)	2023年3月期末	2024年3月期末	(億円)	2023年3月期末	2024年3月期末
流動資産	4,065	3,973	負債	3,375	3,067
現金及び預金	1,782	1,472	買掛債務	765	784
営業債権及び その他の債権	1,853	1,899	有利子負債	972	847
棚卸資産	219	375	その他	1,637	1,435
その他流動資産	210	226	純資産	5,674	5,902
固定資産	4,984	4,996	親会社株主帰属分	5,538	5,775
有形固定資産	3,922	3,879	非支配株主持分	135	127
のれん ⁽²⁾	71	83			
その他固定資産 ⁽²⁾	989	1,033	負債純資産合計	9,049	8,970
資産合計	9,049	8,970			

注記 (1) 億円未満切り捨て、(2) 2023年3月期末の実績については、前期に行われたTrans American及びLocher Evers Internationalとの企業結合について、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を記載

■ 自己資本比率

- 自己資本比率：64.4%（前期末比 +3.2ポイント）

1.	2024年3月期 決算概要	1 ~ 9
2.	2025年3月期 業績予想	10 ~ 16
3.	中期経営計画の進捗	17 ~ 21
4.	参考資料	22 ~ 29

連結業績予想及び配当予想

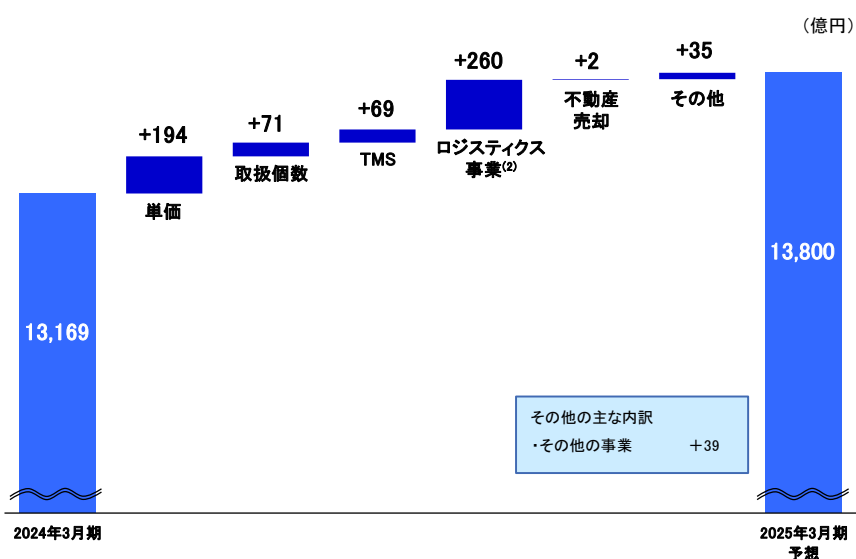
		2024年3月期 実績	2025年3月期 業績予想	前期比
(億円)				
営業収益		13,169	13,800	105%
営業利益 (営業利益率)		892 (6.8%)	960 (7.0%)	108%
経常利益		908	970	107%
親会社株主に帰属する 当期純利益		582	645	111%
(円)				
1株当たり 配当金	第2四半期末	26	26	+1
	期末	25	26	
	合計	51	52	

注記 (1) 億円未満切り捨て

■ 2025年3月期業績予想（前期との比較）

- 営業収益 : + 630億円
- 営業利益 : + 67億円
- 経常利益 : + 61億円
- 親会社株主に帰属する当期純利益 : + 62億円

営業収益予想の増減分析



注記 (1) 億円未満切り捨て (2) TMSを除く

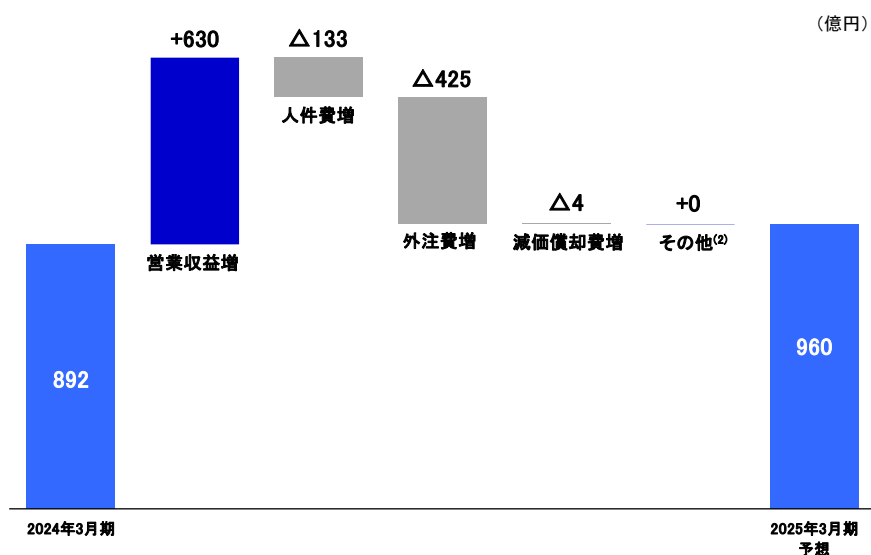
Copyright © 2024 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

12

■ 2025年3月期業績予想

- 平均単価 : 662円 (前期差 + 14円)
- 取扱個数 : 13.8億個 (前期差 +0.1億個)
- TMS : 1,200億円 (前期比 106%)

営業利益予想の増減分析



注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 「その他」は燃料費含む

■ 2025年3月期業績予想

- 人件費 : 4,480億円 (前期比 103%)
- 外注費 : 6,335億円 (前期比 107%)
- 減価償却費 : 355億円 (前期比 101%)

配当予想について

配当方針 連結配当性向30%以上・前年からの増配を目指す

2024年3月期業績

宅配便 : 通期で需要弱含み
 エクスボランカ社: 国際輸送取扱い減少の継続、運賃水準
 停滞による業績不振
 → 期初業績予想からの乖離
 親会社株主に帰属する当期純利益の達成率 81.5%

2024年3月期配当

業績不振を踏まえ、増配予想を修正し、
 前年同額を維持

年間配当 51円

[前期±0円、連結配当性向54.9%]

2025年3月期見通し

宅配便 : 一定の需要回復見込み、適正運賃收受、
 2024年問題対応等によるコスト増
 エクスボランカ社: 国際輸送取扱い拡大、コスト見直し等による業績回復
 → 宅配便ネットワーク維持コスト・投資の増加継続も、
 全体としては増収増益見通し

2025年3月期配当予想

配当方針に則り、前年から増配を目指す

年間配当 52円

[前期+1円、連結配当性向50.4%]

連結業績予想(第2四半期累計)

(億円)	2024年3月期 第2四半期累計 実績	2025年3月期 第2四半期累計 業績予想	前年同期比
営業収益	6,433	6,730	105%
営業利益 (営業利益率)	386 (6.0%)	395 (5.9%)	102%
経常利益	392	400	102%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	252	260	103%

注記 (1) 億円未満切り捨て

Copyright © 2024 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

15

■ 2025年3月期第2四半期累計の業績予想 (前年同期との比較)

- 営業収益 : + 296億円
- 営業利益 : + 8億円
- 経常利益 : + 7億円
- 親会社株主に帰属する四半期純利益 : + 7億円

セグメント別業績予想

(億円)	2024年3月期 実績	2025年3月期 業績予想	前期比
営業収益 合計	13,169	13,800	105%
デリバリー事業	10,285	10,620	103%
ロジスティクス事業	2,197	2,460	112%
不動産事業	126	120	95%
その他の事業	560	600	107%
営業利益 合計	892	960	108%
デリバリー事業	815	820	101%
ロジスティクス事業	△48	30	-
不動産事業	71	70	98%
その他の事業	34	35	102%
調整額	20	5	25%

注記 (1) 億円未満切り捨て

Copyright © 2024 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

16

■ セグメント別業績予想（前期との比較）

・ 営業収益	+ 630億円
デリバリー事業	+ 334億円
ロジスティクス事業	+ 262億円
不動産事業	△ 6億円
その他の事業	+ 39億円

・ 営業利益	+ 67億円
デリバリー事業	+ 4億円
ロジスティクス事業	+ 78億円
不動産事業	△ 1億円
その他の事業	+ 0億円
調整額	△ 15億円

・ ロジスティクス事業 業績予想の前提

エクスポランカ社業績・取扱数量予想

業績	： 営業収益	1,360億円	(前期比 119%)
	営業利益	1億円	(前期比 -)
取扱数量	： 航空	110千t	(前期比 109%)
	海上	170千TEU	(前期比 114%)

為替レートは1\$=146円で予想

*エクスポランカ社業績はIFRS基準に基づく

1.	2024年3月期 決算概要	1 ~ 9
2.	2025年3月期 業績予想	10 ~ 16
3.	中期経営計画の進捗	17 ~ 21
4.	参考資料	22 ~ 29

2022年度～2024年度
中期経営計画
SGH Story 2024

<基本方針>

持続可能な成長を実現する
次世代の競争優位性創出

<重点戦略>

- ① 総合物流ソリューション(GOAL®)の高度化
- ② 競争優位創出につながる経営資源の拡充
- ③ ガバナンスの更なる高度化

経営戦略

① 総合物流ソリューション(GOAL®)の高度化

- 脱炭素をはじめとした社会・環境課題解決に向けたサービスの推進
- TMS・3PLネットワークの拡充と周辺ソリューションの高度化
- 国際・海外向けサービスの強化
- 宅配便のサービス向上と効率化による収益性向上

② 競争優位創出につながる経営資源の拡充

- アライアンスを含めた国内外輸配送ネットワークの強化
- 人的資本への投資及びエンゲージメントの向上
- DXへの投資による競争優位の創出
- オープンイノベーションなどによる新たな価値の創造

③ ガバナンスの更なる高度化

- グローバル化に対応したガバナンスの構築
- コンプライアンスの継続的な高度化

「SGH Story 2024」重点戦略の進捗

重点戦略の進捗状況

- 中長期を見据えた宅配便の安定的な成長に向けた取組みや投資は進展
- 宅配便以外の新たなサービス・新規領域の獲得など成長基盤の構築の加速が課題
- 一方で、国内の環境変化に伴うネットワーク維持のための社内外リソースの維持・確保が急務

	成果	課題
総合物流ソリューション (GOAL®)の高度化	<ul style="list-style-type: none"> ● 宅配便の生産性向上 ● 適正運賃收受の取組みの進展 ● TMS、3PL、国際事業の取引事例の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ● 宅配便の更なる品質向上・効率化 ● 新規サービス・新領域獲得
競争優位創出につながる経営資源の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ● 大型中継センター投資開始 ● AI搭載荷積みロボットR&D ● パートナー企業との関係性強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高度な専門人材育成・獲得 ● オープンイノベーション加速 ● 2030年を見据えた社内外リソースの維持・確保
ガバナンスの更なる高度化	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外事業会社の内部統制整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● エクスパンカ社のガバナンス体制の変更と安定化

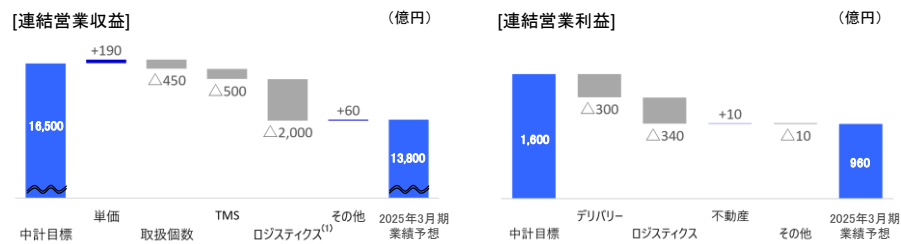
「SGH Story 2024」重点戦略の進捗

経営目標と2025年3月期の見通し

▶ 宅配便、宅配便以外の物流領域いずれも2025年3月期時点では当初目標には未達の見通し

- 宅配便
 - ・インフレの進行等、事業環境の変化に起因する、取扱個数減少やコスト上昇
 - ・適正運賃収受と生産性向上が進捗も、継続的な取組みが必要
- 宅配便以外
 - ・エクスポランカ社は想定した反動減以上の事業環境の悪化もあり、想定どおりの回復基調にいたらず、今後の成長に向けた体制立て直し途上
 - ・TMSは一時、特需で大きく伸長したものの反動減もあり、成長ペースの加速が課題

経営目標と2025年3月期見通しの差異



注記 (1) TMSを除く

「SGH Story 2024」重点戦略の進捗

環境認識と2025年3月期の重点ポイント

主要な事業環境認識

インフレ継続

テクノロジー進化

物流業界構造変化

世界経済停滞

賃金上昇

「2024年問題」

2025年3月期の重点ポイント

- 成長領域への進出及び新規事業拡大
 - ・自社リソースでの参入、外部リソースの獲得も視野に成長基盤の構築を目指す
- 事業継続に必要な社内外リソースの維持・確保
 - ・パートナー企業との関係強化、従業員エンゲージメント向上と社内リソースの充実
- 事業を持続的に支えるコスト構造の再構築
 - ・生産性向上のための省人化、自動化投資

「SGH Story 2024」基本方針 持続可能な成長を実現する次世代の競争優位性創出 を具現化

1.	2024年3月期 決算概要	1 ~ 9
2.	2025年3月期 業績予想	10 ~ 16
3.	中期経営計画の進捗	17 ~ 21
4.	参考資料	22 ~ 29

連結業績サマリー(四半期連結会計期間)

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前期比
営業収益	3,185	82.3%	3,248	89.2%	3,518	96.6%	3,217	100.8%	13,169	91.8%
営業利益 (営業利益率)	188 (5.9%)	56.6%	198 (6.1%)	64.3%	330 (9.4%)	77.8%	175 (5.4%)	61.1%	892 (6.8%)	65.9%
経常利益	187	52.6%	204	66.4%	345	79.3%	170	61.3%	908	65.9%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	118	50.8%	133	46.9%	230	41.2%	99	53.6%	582	46.1%

注記 (1) 億円未満切り捨て

セグメント別業績(四半期連結会計期間)

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比
営業収益 合計	3,185	82.3%	3,248	89.2%	3,518	96.6%	3,217	100.8%	13,169	91.8%
デリバリー事業	2,519	97.5%	2,529	97.7%	2,795	98.1%	2,440	99.6%	10,285	98.2%
ロジスティクス事業	512	44.9%	550	60.9%	571	88.8%	562	122.5%	2,197	69.8%
不動産事業	18	97.6%	19	110.6%	17	98.9%	70	49.9%	126	64.6%
その他の事業	134	108.3%	148	112.6%	134	101.6%	142	102.2%	560	106.1%
営業利益 合計	188	56.6%	198	64.3%	330	77.8%	175	61.1%	892	65.9%
デリバリー事業	171	78.2%	173	79.2%	315	85.6%	153	80.9%	815	81.7%
ロジスティクス事業	△11	-	△5	-	△10	-	△21	-	△48	-
不動産事業	11	110.9%	11	119.4%	11	104.8%	37	54.2%	71	71.8%
その他の事業	11	92.1%	11	91.4%	6	73.8%	4	50.0%	34	79.5%
調整額	4	68.8%	6	125.4%	7	402.7%	1	18.6%	20	98.7%

注記 (1) 億円未満切り捨て

エクスポランカ社の実績

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前期比
営業収益	244	27.8%	276	44.3%	303	82.8%	314	153.2%	1,138	54.9%
営業利益	△20	-	△10	-	△22	-	△18	-	△72	-
航空 数量 (千t) ⁽²⁾	21	65.2%	25	85.3%	25	103.8%	27	158.7%	100	95.7%
海上 数量 (千TEU) ⁽²⁾	40	51.8%	46	91.5%	29	78.6%	32	90.6%	149	73.5%

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 小数点以下切り捨て

商品・サービスの状況

デリバリー事業 取扱個数・単価の状況

(百万個、円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前期比
取扱個数合計	341	96.9%	338	97.4%	369	98.0%	324	97.1%	1,373	97.3%
飛脚宅配便 ⁽²⁾⁽⁴⁾	329	97.1%	326	97.6%	356	98.1%	312	97.1%	1,325	97.5%
その他 ⁽³⁾	11	91.5%	11	92.1%	12	95.0%	11	95.5%	47	93.5%
平均単価	643	100.5%	647	100.6%	655	101.2%	648	101.2%	648	100.9%

e-コレクト⁽⁴⁾ 個数・決済金額の状況

(百万個、億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前期比
個数	14	87.8%	14	88.4%	15	89.4%	13	90.8%	58	89.1%
決済金額	1,798	90.3%	1,735	89.3%	2,018	91.7%	1,614	91.6%	7,166	90.7%

TMSの状況

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前期比
売上高	269	94.0%	276	90.1%	304	95.5%	279	98.3%	1,130	94.4%

地域ごとの情報

(億円)	24年3月期	
	24年3月期	前期比
営業収益	13,169	91.8%
日本	11,642	97.6%
海外	1,527	63.2%

注記 (1) 徳門未滿切り捨て (2) 飛脚宅配便は、佐川急便株式が国土交通省に届け出ている宅配便の個数 (3) その他は、飛脚ラージサイズ宅配便⁽⁴⁾及びその他の会社の取扱個数 (4) 「飛脚宅配便」、「飛脚ラージサイズ宅配便」、「e-コレクト」はSGホールディングス株式の登録商標

営業費用の内訳

連結決算 主要費用項目

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前期比
営業費用 合計	2,996	84.7%	3,050	91.5%	3,188	99.1%	3,041	104.8%	12,277	94.5%
人件費	1,095	99.0%	1,087	100.9%	1,119	102.1%	1,043	102.2%	4,346	101.0%
外注費	1,422	71.9%	1,457	81.8%	1,578	96.5%	1,451	108.8%	5,909	87.8%
燃料費	30	95.3%	37	107.0%	32	98.8%	29	101.6%	129	100.8%
減価償却費	83	103.7%	84	104.7%	89	108.5%	93	111.8%	350	107.2%
その他経費	364	107.7%	383	106.4%	367	99.2%	424	97.1%	1,540	102.2%

デリバリー事業 主要費用項目

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前年同期比	24年3月期	前期比
営業費用 合計	2,466	99.3%	2,475	99.4%	2,599	99.7%	2,390	100.7%	9,932	99.8%
人件費	913	98.6%	904	101.1%	928	101.6%	849	100.7%	3,595	100.5%
外注費	1,207	99.4%	1,217	98.1%	1,313	98.6%	1,189	100.8%	4,927	99.2%
燃料費	30	96.1%	36	106.8%	31	99.3%	28	100.6%	127	100.8%
減価償却費	53	98.9%	55	102.9%	56	101.9%	61	109.8%	226	103.4%
その他経費	261	101.7%	262	98.0%	269	98.5%	262	98.8%	1,055	99.2%

注記 (1) 億円未満切り捨て

従業員・車両・拠点の状況

(人、台、拠点)		2023年3月期末	2024年3月期末
連結従業員数	合計	94,087	93,401
(うちパートナー社員等 ⁽¹⁾)		(41,819)	(41,094)
デリバリー事業		75,105	73,749
		(32,321)	(31,549)
ロジスティクス事業		13,891	14,805
		(7,104)	(7,368)
不動産事業		98	97
		(-)	(2)
その他の事業		4,223	4,049
		(2,206)	(1,983)
全社(共通)		770	701
		(188)	(192)
佐川急便	車両台数	26,270	25,992
	主な拠点数	852	847
	中継センター	22	22
	営業所	427	427
	小規模店舗 ⁽²⁾	403	398

注記 (1) 期中の平均人員数 (2) サービスセンター、デリバリーセンターの合計

参考：連結フリーキャッシュ・フロー見通し

主要キャッシュ・フロー項目

(億円)	2024年3月期 実績	2025年3月期 見通し ⁽³⁾
営業活動によるキャッシュ・フロー	776	1,340
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 413	△ 580
フリーキャッシュ・フロー ⁽²⁾	362	760

■ 2024年3月期の主な投資(実績)⁽³⁾

・不動産・施設投資	: 200 億円
・車両投資	: 150 億円
・IT投資	: 75 億円

■ 2025年3月期 主な投資(見通し)⁽³⁾

・不動産・施設投資	: 330 億円
・車両投資	: 190 億円
・IT投資	: 70 億円

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) フリーキャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー (3) 数値は概算値

ディスクレイマー

本資料は、SGホールディングス㈱(以下、「当社」とします)及びそのグループ会社(以下当社とあわせて、「当社グループ」とします)の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を目的とするものではありません。また、本資料の全部または一部を当社の承諾なしに公表または第三者に伝達することはできません。

本資料に、当社に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれることがありますが、これらに限られるものではありません。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述または前提(仮定)は、客観的には不正確であったり、または将来実現しないという可能性があります。

このような事態の原因となりうる不確実性やリスクとしては、金利の変動、株価の低下、為替相場の変動、保有資産の価値変動、信用の低下、国内外の企業の生産活動または個人消費の低迷、原油価格の高騰、人件費の高騰、EC市場の低成長、システム・事務・人的・法令違反リスク、不正・不祥事の発生、風評・風説等によるイメージ・信用の低下、事業戦略・経営計画が奏功しないリスク、業務範囲の拡大等に伴う新たなリスク、経済・金融環境の変動、競争条件の変化、大規模災害等の発生、業務提携・外部委託等に伴うリスク、繰延税金資産の減少その他様々な要因が挙げられますが、これらに限られません。

なお、本資料における記述は本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針もありません。これらの要因により、将来の見通しと実際の結果は必ずしも一致するものではありません。

また、本資料に記載されている当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等については当社は何らの検証も行っておりません。また、これを保証するものではありません。